# 令和6年度体力つくり推進計画 <全体計画>

# 学校の状況

- ・広島県南部のほぼ中央部、東広島市東部に 位置した全校生徒89名の小規模校である。
- ・豊かな自然に恵まれ、東広島市に市町村合併したこともあり、地域振興に対する意識や教育に対する関心が高い。
- ・全校生徒の3分の2の生徒が自転車通学を し、3分の1の生徒が徒歩またはバス通学をし ている。

# 児童生徒の運動・生活習慣の実態

- ・全校生徒の9割は、運動やスポーツを「週3日 以上実施している」と回答しており、運動部に 多くの生徒が所属し、活動を行っている。
- ・朝食について「毎日食べている」と回答した生徒が男女とも9割以上いる。

# 広島県体力・運動能力、運動習慣等 調査結果との比較から

#### 〇 男子

・「握力」「反復横とび」「ボール投げ」の記録 において、県平均値(令和5年度)かつ全国 平均値(令和4年度)を下回っている。

### O女子

・すべてのテスト記録が県平均値かつ全国平 均値を上回っている。

#### O全体

・体力に自信があると答えた生徒の割合が、男子30%、女子17%であった。

# 実態把握

# 児童生徒の実態や体力・運動能力調査等 から明らかになった課題

- ・運動をする習慣が身に付いていない生徒もいる ため、家庭でも目標をもって取り組めるように手 立てをする必要がある。
- ・テレビを見たりゲームをしたりする時間の多い生徒は運動実施時間が少ないため、メディアの使用 について制限する取組が必要である。
- → I 日のテレビ等の視聴時間が2時間以上の生徒の割合が60%であった。
- ・体力に自信があるかの質問に対して、「ある」と回答した生徒が少数であった。運動部で活動している生徒が7割の現状から、部活動において自信を持たせる取組を行う必要がある。
- →体力に自信があると答えた生徒の割合が、男子 30%、女子 17%であった。

# 東広島市立河内中学校 様式①

# 達成目標

- さまざまな運動実践を通して、体を動かす楽しさや喜びを味わわせる。
- │○ 健康と安全について理解させ、「生涯スポーツ」に向けた主体的な態度を養わせる。
- 新体力テストの結果を分析し、全学年全種目の数値において県平均を上回る。

# 取組事項

### ①学校としての取組

- ・体を動かす楽しさを味わい、自ら継続して運動に取り組む態度を育成する。(振り返りやグループワーク)
- ・運動会では縦割りグループを編成し、種目練習やダンス等、行事を通して異学年交流を行う。

#### ②保健体育科での取組

- ・体つくり運動の授業を重視し、 I 年生は「体を動かす楽しさを十分味わうこと」2・3年生は「体力を高めることの必要性を理解し、自分に合った体力つくりを実践できること」に重点を置く。
- ・授業のはじめの準備運動では、体力向上トレーニングを全学年で行い、年間を通して取り組む。
- ・昨年度の自分の結果を分析させ、目標設定させる。
- ・2 回目の測定を行い、体力の向上に向けて授業や部活動に取り組ませる。

## ③各家庭での運動の実施

・生徒個人の体力テストの結果を踏まえて、長期休業中の課題として各自が劣っている種目について家庭で補強 できるように課題を設定し、取り組ませる。

# 期待される効果

- ・ 運動会などで縦割りのグループを編成することで、責任感や行事を盛り上げようとする意欲が向上する。
- · 体を動かすことが好きな生徒が増える。
- · 自分の体力を考察し、自分に合った運動を設定して取り組めるようになる。
- ・ 体力に自信のある生徒や運動やスポーツが好きな生徒が増える。
- ・現時点で課題のある自分の体力の向上につながる。
- 現時点で優れている体力がさらに向上することにつながる。

# 体制

- · 教頭を責任者とした「体力向上推進チーム」を構成する。メンバーは、教頭、体育主任、養護教諭、各学年主任で 構成する。
- 原則、学期に | 回の定例会議を開催する。
- 生徒会執行部と連携し、体を動かす楽しさや喜びを味わうことができる行事(クラスマッチ)を実施する。

# 令和6年度体力つくり推進計画 <年間指導計画><sub>東広島市立河内中学校</sub>様式②

達成目標

- 様々な運動実践を通して、体を動かす楽しさや喜びを味わわせる。○ 健康と安全について理解させ、「生涯スポーツ」の態度を養わせる。○ 新体カテストの結果を分析し、全学年全種目の数値において県平均を上回る。

